

「ほっとルーム」だより



第131号 令和元年7月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

7月に**串木野小学校**と**照島小学校**で
「ほっとルーム」の出前サロン
「おあしす」を開設します。



7月3日(水)に串木野小学校で、7月10日(水)に照島小学校で、
ほっとルームの出前サロン「おあしす」を開設します。

家庭訪問をする1・2年生の長子家庭だけでなく、どの学年の御家庭の方々ともお話ができれば有り難いです。お茶の準備をしてお待ちしています。お気軽にお立ち寄りください。



串木野小学校

- 開設日時 **7月3日(水)**
(午後2時~4時)
- 開設場所 **図工室**

照島小学校

- 開設日時 **7月10日(水)**
(午後2時~4時45分)
- 開設場所 **PTA会議室**

お勧めの本です。親子で読んでみませんか

低学年



中学年



高学年



子育てに悩みはつきもの。気になること等があったら、一人で悩まず、
いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内
TEL 21-5130 : FAX 36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも訪問いたします。**

県の相談機関

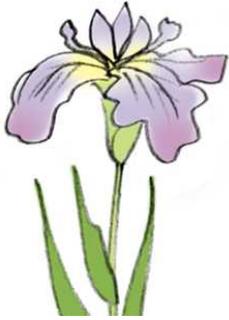
かごしま教育ホットライン24

TEL: 0120-783-574 (携帯電話はつながりません)
TEL: 099-294-2200

家庭教育について提言をいただきました。

株式会社タケシタ 代表取締役 竹下 英治

毎朝、通勤するとき通学途中の児童、生徒と会います。「おはようございます」と子ども達から言ってくる子もいれば、こちらから、「おはようございます」と声掛けすると返事してくれる子どももいます。



特に子どもたちからあいさつされると、なぜかほっと癒されます。今日も1日、仕事を頑張ろうという気にさせてくれます。「おはようございます」って魔法みたいに不思議な力がありますね。きっと家庭でのしつけがちゃんと出来ているんだなと想像させられます。

私の子どもたちは3人兄弟で、一番下が大学3年生です。今、考えてみると、はたして自分の子どもたちには、ちゃんとしつけていたかな？と今頃になって不安がよぎります。

「ほっとルーム」だよりも寄稿するにあたって、改めて家庭教育の大切さと、あいさつの大切さを感じたところでした。

子育てアドバイス 愛のムチのつもりが、「虐待」へとエスカレートすることがあります。

- 子育てには、「叩かない」「怒鳴らない」を心に決めましょう。

叩くことによって変わったと思う子どもの姿は、実は叩かれた恐怖による姿かもしれません。子どもの言い分にも、耳を傾けましょう。

- 親に恐怖をもった子どもは、親にSOSを伝えることができません。

子どもが、親に心配事を相談できないと、悩みなどをため込み、より大きな心配事に発展することもあります。

- イライラして叱っても、子どもの心に伝わりません。

イライラしたら、深呼吸をしたり、数を数えるなどして、クールダウンしてから子どもと話しましょう。

- 親自身が、SOSを出そう。

育児の負担を1人で抱え込まず、家族で分担したり、様々な支援サービスの利用を検討したり、気軽に相談できる友をもったりするのも良いですね。

第1回目の家庭訪問では、大変 お世話になりました。

第1回目の家庭訪問は、毎回、家がわからず走り回ることがあります。今回も分からない家が、数軒ありましたが、地域の方々が一緒に探してくださったり、丁寧に家を教えてくださったりして、とても助かりました。有り難うございました。